

Interview

宗意原自主防災会

荻田陽介 防災士

今回の訓練が初めての参加でした。

マンホールトイレの設置では、皆さんが率先して一緒にやってくれたので災害時にも声を掛け合ってできると思います。訓練を重ねて、もっと防災に対する意識を高めていきたいです。



松前中学校施設管理者

藤井忍 教頭

今回は浸水害を想定して3階の図書室への避難を行いました。想定外の人数が避難して来た場合の対応、足の不自由な人や車いすの人が上階へ避難する場合の対応など、課題もいくつか見えてきました。



新立から訓練に参加

篠原順華 さん
弘輝 くん

普段はなかなか地域の人と顔を合わせる機会がないので、皆さんと参加できてよかったです。実際に避難所の中の動線も確認できました。避難する際、特に子どもの支度に思ったより時間がかかったので、普段から準備しておくことが大切だと改めて感じました。



総務課危機管理係
豊田 純一



5_ 備蓄物資の受け入れ 6_ 備蓄物資の受け渡し 7_ 避難所内の利用可能箇所の確認 8_ 防災倉庫の確認 9_ 緊急用スベアキーBOXの確認 10、11_ マンホールトイレの設置訓練



訓練後のアンケートによると、「実際の災害時に避難情報が出された場合にはすぐに避難する」と答えた人は6割程度でした。避難情報に対する危機感が薄いのが現状です。高齢者等で避難に時間がかかる人は避難準備・高齢者等避難開始が発令されたら、その他の人は避難勧告が発令されたら、すぐに避難をしてください。



西日本に甚大な被害をもたらした平成30年7月豪雨、8月以降多発する台風や大雨による浸水害と土砂災害。全国各地で大きな災害が発生し、皆さんの防災に対する関心も高まっているのではないのでしょうか。そんな中、町は9月2日に大規模な風水害の発生を想定した「松前町総合防災訓練」を実施しました。訓練に参加した人もできなかった人も、とつさに行動できる備えについて、一緒に考えてみましょう。



1_ 災害対策本部設置運営訓練 2_ 防災行政無線による災害情報伝達訓練 3_ 避難準備・高齢者等避難開始発令 4_ 避難所での受け付け



松前町総合防災訓練

訓練は、台風の接近により町内各所で道路冠水と住宅への浸水被害が発生していることを想定して行われ、消防団や住民など約700人が参加しました。

防災行政無線で避難情報が放送されると、消防団の避難誘導の下、各地区の自主防災会が中心となって避難を実施。避難所では、防災倉庫、緊急用スベアキーBOXや施設内の利用可能箇所の確認、マンホールトイレの設置訓練を行いました。

北伊予小学校での訓練に参加した大西明男さん「鶴吉」は、「訓練のための訓練ではなく、実際の災害を想定した訓練をしてほしいと感じました。もつと一人一人が緊張感を持って参加すると効果も上がると思います」と話していました。

大西さんのほかにも、参加した皆さんの感想を次のページに載せています。訓練を通して、それぞれが防災に対する意識を高めたり、課題を見つかりました。

各家庭に必要なものの確認を

非常持ち出し品を 常備しよう



▲必要なものは何かな。みんなで確認を

災害が発生し、避難が必要になったとき、多くの人は恐怖で気が動転したり、家族がそろっていなくて不安になったりして、冷静な判断ができなくなってしまう。そんな状態で避難準備をしようとしても、すぐに荷物をまとめることは難しく、避難の遅れにもつながってしまいます。

いざというときのために、しっかりと事前準備を行い、安全を確保しましょう。防災マップ「風水害編」の22ページに、非常持ち出し品の事前準備について載せています。これを参考にしながら、実際に準備してみましょう。

▶集めた非常持ち出し品は避難時に両手使えるよう、リュックに入れるのがおすすめ。リュックに反射テープがあると、夜間の避難もより安全です



▶非常持ち出し品が用意できたら、一度持ってみて、重過ぎる場合は減らしましょう。持ち出し品の量は、最低3日分が目安です



非常持ち出し品の例 CHECK

- ☐ 飲料水・非常用食料
保存でき、調理せずに食べられる非常食など（※味が濃いものは喉が渇くので避けましょう）
- ☐ 医薬品・おくすり手帳
常備薬や軽症のけがの手当てができるものなど。持病のある人は常備薬とおくすり手帳
- ☐ 応急生活用品
懐中電灯、携帯ラジオ、携帯電話、充電器、予備の電池など
- ☐ 衣類
肌着、雨具、防寒具など
- ☐ 貴重品
現金（小銭）、身分証明書の写しなど



※ このあと、14ページの「松前の防災力」で、日ごろの生活で備えられる「ローリングストック」について紹介しています。



防災マップは、転入時に町民課で配布するほか、総合案内や3階総務課にも置いてあります。



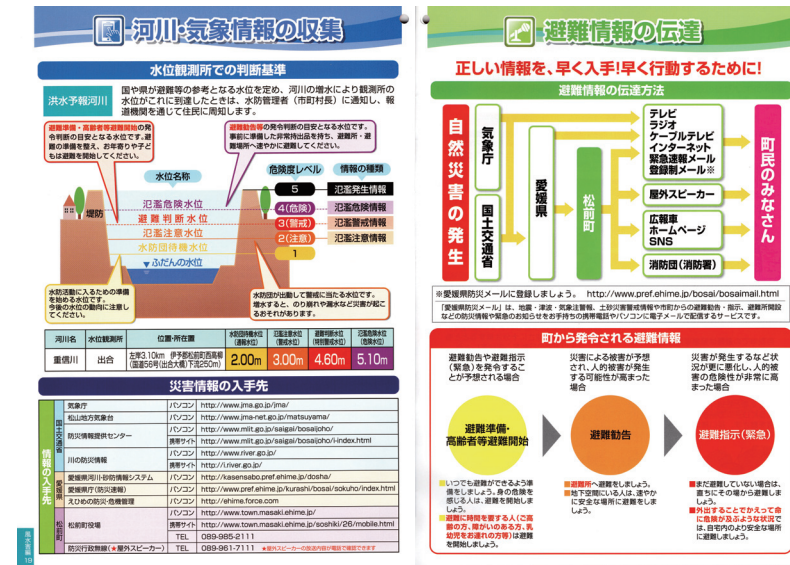
緊急連絡先一覧 指定避難所等一覧

2ページに、緊急連絡先と指定避難所・福祉避難所・指定緊急避難場所・自主避難所の一覧を載せています。

いざというときに命を守る行動ができるよう、自宅近くの避難所はもちろん、町内の各施設についても確認しておきましょう。

緊急連絡先一覧				
緊急連絡先	電話番号	緊急連絡先	電話番号	緊急連絡先
消防 (火災・救急・救助)	119	災害時情報センター	0120-459-273	
警察 (刑事)	110	NTT (災害用伝呼)	112	
海上保安庁 (海難救助)	1196	松前市役所	0985-2111	
伊予警察署	0985-0110	松前消防署	0984-3404	
松前電力松前支店 (停電)	0120-410-903	松前支店	0984-1010	

指定避難所・福祉避難所・指定緊急避難場所・自主避難所				
指定避難所	指定避難所	指定緊急避難場所	指定緊急避難場所	指定緊急避難場所
1. 指定避難所	2. 指定避難所	3. 指定緊急避難場所	4. 指定緊急避難場所	5. 指定緊急避難場所
6. 指定緊急避難場所	7. 指定緊急避難場所	8. 指定緊急避難場所	9. 指定緊急避難場所	10. 指定緊急避難場所
11. 指定緊急避難場所	12. 指定緊急避難場所	13. 指定緊急避難場所	14. 指定緊急避難場所	15. 指定緊急避難場所
16. 指定緊急避難場所	17. 指定緊急避難場所	18. 指定緊急避難場所	19. 指定緊急避難場所	20. 指定緊急避難場所
21. 指定緊急避難場所	22. 指定緊急避難場所	23. 指定緊急避難場所	24. 指定緊急避難場所	25. 指定緊急避難場所
26. 指定緊急避難場所	27. 指定緊急避難場所	28. 指定緊急避難場所	29. 指定緊急避難場所	30. 指定緊急避難場所
31. 指定緊急避難場所	32. 指定緊急避難場所	33. 指定緊急避難場所	34. 指定緊急避難場所	35. 指定緊急避難場所
36. 指定緊急避難場所	37. 指定緊急避難場所	38. 指定緊急避難場所	39. 指定緊急避難場所	40. 指定緊急避難場所
41. 指定緊急避難場所	42. 指定緊急避難場所	43. 指定緊急避難場所	44. 指定緊急避難場所	45. 指定緊急避難場所
46. 指定緊急避難場所	47. 指定緊急避難場所	48. 指定緊急避難場所	49. 指定緊急避難場所	50. 指定緊急避難場所
51. 指定緊急避難場所	52. 指定緊急避難場所	53. 指定緊急避難場所	54. 指定緊急避難場所	55. 指定緊急避難場所
56. 指定緊急避難場所	57. 指定緊急避難場所	58. 指定緊急避難場所	59. 指定緊急避難場所	60. 指定緊急避難場所
61. 指定緊急避難場所	62. 指定緊急避難場所	63. 指定緊急避難場所	64. 指定緊急避難場所	65. 指定緊急避難場所
66. 指定緊急避難場所	67. 指定緊急避難場所	68. 指定緊急避難場所	69. 指定緊急避難場所	70. 指定緊急避難場所
71. 指定緊急避難場所	72. 指定緊急避難場所	73. 指定緊急避難場所	74. 指定緊急避難場所	75. 指定緊急避難場所
76. 指定緊急避難場所	77. 指定緊急避難場所	78. 指定緊急避難場所	79. 指定緊急避難場所	80. 指定緊急避難場所
81. 指定緊急避難場所	82. 指定緊急避難場所	83. 指定緊急避難場所	84. 指定緊急避難場所	85. 指定緊急避難場所
86. 指定緊急避難場所	87. 指定緊急避難場所	88. 指定緊急避難場所	89. 指定緊急避難場所	90. 指定緊急避難場所
91. 指定緊急避難場所	92. 指定緊急避難場所	93. 指定緊急避難場所	94. 指定緊急避難場所	95. 指定緊急避難場所
96. 指定緊急避難場所	97. 指定緊急避難場所	98. 指定緊急避難場所	99. 指定緊急避難場所	100. 指定緊急避難場所



河川・気象情報の収集 避難情報の伝達

「津波編」の13ページ、「風水害編」の19、20ページには、災害時の情報収集の方法や町民の皆さんへの情報伝達の流れを載せています。

発令される避難情報はどのような状態を示しているのか、どのタイミングで避難すればよいのかなど、事前に確認しておきましょう。



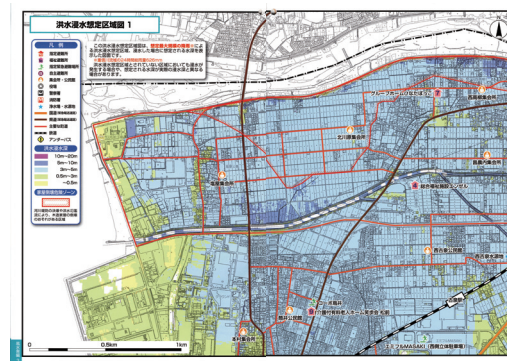
(一財) 消防防災科学センター
防災図上訓練指導員
楠本 員三さん = 伊予市在住 =

早めの避難で命を守る行動を

Interview

自分たちが住んでいる地域に、これからどれくらい雨が降るのか、重信川の水位はどうなっているのかといった情報は、気象庁や国土交通省のホームページで、いつでも誰でも簡単に手に入れることができます。行政からの情報を待つのではなく、自分自身で情報入手する「**情報の先読み**」を行い、近所の人にも知らせて、早めの

避難行動につなげてほしいと思います。「数十年に一度の大雨」という言葉を毎年のように耳にします。今後の雨の降り方は過去の予想をはるかに超えることが考えられ、今まで大丈夫だったからこれからも大丈夫ということは通用しなくなります。各自で早めの避難をし、命を守る行動を取りましょう。



▲防災マップに避難所の位置も掲載

ルートと危険箇所の確認を

避難所まで 歩いてみよう

災害時は、自動車での避難すると緊急車両の通行の妨げになります。また、被害の状況によっては道路が隆起していたり、冠水して川のようになっていたりする可能性もあります。避難所へは歩いて避難しましょう。

安全に避難するためには、事前に自宅から避難所までのルート確認や危険箇所の把握をしておくことが大切です。準備した非常持ち出し品を持って、実際に歩いてみましょう。

地区の防災士さん協力の下、小さなお子さんのいる世帯とお年寄りの世帯でそれぞれ検証してみました。

上高柳地区の 子育て世帯



嶋屋さん一家
(左上から)
ひろのり 結衣ちゃん 杏奈さん
浩典さん 結衣ちゃん 杏奈さん
昊希くん 莉央ちゃん

非常持ち出し品の準備は、どこからどこまで必要なのかとつさに判断できず、選ぶのに時間がかかりました。災害時には子どもを守ること必死だと思うので、事前準備をしっかりとりたいです。

避難所まで実際に歩いてみて、子どものペースだと思った以上に時間がかかって大変でした。また、雨の中傘をさしての移動は危険なので、非常持ち出し品の中にレインコートも入れておきたいと思います。



上高柳
自主防災会
(左から)
井上憲二 防災士
坪田末廣 会長
赤坂宏作 防災士

水が入ると動けなくなるので、避難時には長靴ではなく運動靴を選びましょう。増水していると、用水路と道路の境目が分からなくなるので、特に子どもさんは落ちないように注意が必要です。

1 自宅から地区の避難時集合場所である上高柳集会所へ



2 集会所に到着



3 上高柳集会所から指定避難所の岡田中学校へ



北黒田地区の 高齢世帯

北黒田 自主防災会

(左から)
大伴美恵子さん
三好青春 防災士
堀内フミヨさん



(大伴さん) 事前に非常持ち出し品をまとめておかないと、すぐに準備はできないと思いました。水、ラジオや懐中電灯など重たい物は、持てる重さのものに変えるなど確認しながら用意しておきたいです。

(三好さん) 今回歩いてみたルートで危険物は見当たりませんでした。しかし土地が低いので、大雨のときは道路が川のように通れないこともあり注意が必要です。

お年寄りの避難に関しては、日ごろの心積もりができていない人が多いので、訓練に参加するなどして避難に対する意識を高めることが大切だと思います。

(堀内さん) 今回歩いてみて、冠水箇所を教えてください、災害時には道路の状況が変わることが分かったので、避難所が家の近くでも事前に確かめておくことが大切だと感じました。

1 昨年の台風 18 号による冠水箇所を確認



2 指定避難所の伊予高校へ



3 大雨で氾濫しそうな川を確認



大きな災害は、いつ発生するか分かりません。いざというとき、あなたはとつさに行動することが出来ますか。

どこに、いつ、誰と、何を
持つて避難すればよいのか、
心積もりも含めた事前準備
が必要です。

何よりもまずは命を守る
行動が取れるよう、今できる
備えについて、真剣に考えて
みましょう。

特集とつさに行動できる備えを終わ